

西高橋遺跡

宇山町・高橋地区

田川の西岸の台地上にあり、平成25(2013)年度から平成28年度に古墳を97基調査しました。円墳89基・帆立貝形古墳2基・方墳6基があります。古墳時代前期(約1,650年前)に方墳5基を造り、中期以降には円墳が53基に増え、後期には古墳を造れる空地が少なくなり37基に減ります(他に時期不明の古墳が2基)。25・27・45・46・74・91・95号墳からは、様々な地域から持ち込まれたと考えられる埴輪が出ました。



西高橋遺跡 発掘調査現場の透視(北東上空から)



人物埴輪



人物埴輪

西高橋27号墳

宇山町・高橋地区

古墳時代前期(約1,400年前)の径21.7mの円墳で、埴輪や土は失われていました。西側部分は発掘されていると見られます。古墳周囲の溝の遺構を中心に埴輪が出土しました。

円形埴輪の形を削り、外周部を磨き上げています(透部調整)。人物埴輪の顔にや、細い目の表情は、城玉川・野馬渡られる特徴です。



西高橋27号墳 発掘調査現場の透視(北東上空から)



人物埴輪



人物埴輪



土器